

平成 28 年度山口県（山口市）地域社会柔道・剣道指導者研修会

日程 平成 28 年 6 月 16 日

会場 維新百年記念公園スポーツ文化センター 武道館、レクチャールーム

参加者 柔道 17 名、剣道 21 名

派遣講師

柔道 鮫島元成八段（全日本柔道連盟教育普及委員会特別委員）

磯村元信六段（全日本柔道連盟教育普及委員・武道必修化プロジェクト委員）

剣道 百鬼史訓教士七段（全日本剣道連盟普及委員会学校教育部会委員長）

軽米満世教士七段（全日本剣道連盟普及委員会学校教育部会委員）



本研修会は中学校武道授業特化型として実施された。開会式には高村正彦常任理事も出席し挨拶を行った。

柔道は中学校教諭 16 名、高校教諭 1 名の計 17 名が参加した。柔道を専門としない 20 代の若い教員が多く、女性も 6 名参加していた。ただし、授業での指導経験がある教員も多く、指導法の教授とともに、指導者自身の技能向上を目指した研修内容となった。

午前は、柔道衣の着用、礼法、受け身、組み方の実技と、柔道授業の現状についての講義が行われた。実技では、低い姿勢から高い姿勢へ、弱い衝撃から強い衝撃へと移していく段階的な習得方法が実践された。また、柔道に効果的な補助運動も紹介された。午後は投げ技の実技、評価についての講義が行われた。実技では参加者からのリクエストにより、膝車、体落とし、釣り込み腰、大腰、払い腰、大外刈りが指導された。取の動きのタイミング、手・足の用法、受け身の取り方、陥りやすい欠点など、ポイントごとに分かりやすく説明され、参加者はスムーズに習得できていた。最後に、習った技を使った約束練習、乱取りを行って終了となった。

剣道の参加者は中学校教員 5 名、高校教員 2 名、授業協力者等有段者 14 名の計 21 名。中学校教員のうち 4 名は剣道未経験者であった。

初めに安全指導・事故防止として、道場や剣道具の安全管理について講義がなされた。実技に移り、剣道に必要な動きを習得するための運動、礼法、竹刀の持ち方・構え方などの基本動作、竹刀を使った面・小手・胴の打ち方・打たせ方、リズム剣道が行われた。午後は剣道具の着装から始まり、しかけ技、技の気剣体の判定試合、応じ技、応じ技の試合、約束練習、自由稽古と、段階的な指導方法が実践され、質疑応答を行って終了した。

研修時間は実質 4 時間と短いながらも、柔道・剣道ともに、終了時には参加者とくに初心者の技術向上が見られ、充実した研修会であった。

◎参加者感想

〈柔道〉

- ・とても有意義な研修会となった。大変勉強になった。(中学校教員)
- ・疑問に思うことをすぐに尋ねることができたのが良かった。(中学校教員)
- ・落ち着いた指導を受けて、教師が落ち着いていることで生徒がどれだけ安心できるか分かった。(中学校教員)

〈剣道〉

- ・授業で剣道を指導する立場だったらとても役に立つだろうと思った。授業の機会があれば思い出して教えたい。(中学校教員)
- ・また新しい気持ちで授業協力ができる。(授業協力者)
- ・少ない時間でも体験することが大切だと感じた。(授業協力者)